

すくわくプロジェクト

① 活動のテーマ

動物園体験画

① テーマの設定理由

動物園で実際に見た動物やまわりの景色を振り返りながら、感じた事や印象に残ったことを、体験画を通じて表現する力を育てる。

動物の皮膚や体毛、部位や細部の色に注目し、保育者や友だちと会話をすることで、それぞれの動物の特徴を知る機会とする。

②多摩動物公園の遠足の後、美術の課業を実施した。完成後にはクラスの壁に飾れるようにピクチャーレールを使用し個性豊かな色彩の絵を通して、遠足での体験をまた思い出し経験を深められるようにしました。

③ 固形絵の具、ノリスジュニア色えんぴつ

プロッキー

完成後にピクチャーレールに飾る



④「きりんの色ってこんな色かな」「フラミンゴはピンクかな」「チンパンジーの手は黒じゃなかった」など細部まで思い出して表現しようとする声が聞こえました。

保育士は「きりんの色って本当に黄色だった?」「フラミンゴは全部同じ色だった?」と問いかけて、子どもの記憶、発見した事を引き出せるようにしました。あくまでも、描き方、塗り方、色は決めつけずひとりひとりの感じ方、考え方、見え方を大切にしながら援助しました。



ピクチャーレールに飾ることで子どもは自分の絵に対しての満足感が深まり、「動物園みたいだね」と子ども同士で喜び合っていました。

⑤全員同じ道具にするのではなく、発達や希望に応じた物を提供することで主体的に表現する事につながりました。またリラックスして取り組めることで子どもたちはその日の経験・発見・楽しかった事を思い出しやすい体験画に対しての意欲が高まっていました。そのなかで子どもたち自身が感じた気持ちや驚きを思い出しながら表現していました。同じ動物でも選ぶ色や表現が異なり、一人一人の感じ方の違いを大切にすることの重要性を感じました。今後も、子どもの実体験と色の表現を結び付けながらも、探求的な活動を深めて行きたいと思います。

① 活動テーマ・テーマの設定理由 ② 活動スケジュール ③ 活動のための素材、道具、環境設定

④ 探究活動の実践・子どもの声、子ども同士や保育者との関り ⑤ 振り返り・保育者の気づき